

【希少がんグラント】

＜プロジェクトからのメッセージ＞

国立がん研究センターの希少がんに対する取り組みに対して、多大なるご支援・ご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。

国立がん研究センター希少がんセンターでは、ご寄付いただきました貴重なお志を希少がん医療の発展に生かすべく「希少がんグラント（Grant-in-Aid for Rare Cancer Research）」

（<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/rcgrant/index.html>）を創設いたしました。希少がんグラントでは、希少がんの診断および治療の進歩・発展に貢献する独創的な基礎・臨床研究を医師・研究者などから広く募集し、厳正な選考に基づいて、これまでに 19 の研究課題に研究費を贈呈させていただきました。

その研究成果をより多くの方に知っていただくことを目的として、「国立がん研究センター希少がんグラント記念シンポジウム」（<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/rcgrant/0158/index.html>）を開催いたしました。今回のシンポジウムは、『つなげよう 未来への架け橋～研究・コミュニティ・あなたの想い・私の想い～』を合言葉に、患者会・支援団体との連携・協働のもと開催し、後日、その熱気がよみがえるようなレポート（報告書・ダイジェスト動画）も作成いたしました。当日の臨場感を感じていただければ幸いです。

希少がん医療の発展と研究の推進のために、多大なご寄附を賜りましたことに厚く御礼申し上げるとともに、シンポジウムの企画・運営・制作にご協力してくださった皆様、参加してくださった皆様に、心より御礼申し上げます。

今後とも、希少がん医療の発展と研究促進のための活動に、ご支援ご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

国立がん研究センター希少がんセンター
加藤陽子、川井 章

<国立がん研究センター希少がんグラント記念シンポジウム>

希少がんグラントの助成を受けて行われた研究成果をより多くの方に知っていただくことを目的として、2024年11月30日「国立がん研究センター希少がんグラント記念シンポジウム」を開催いたしました。

シンポジウムでは、患者会・支援団体との連携・協働のもと『つなげよう 未来への架け橋〜研究・コミュニティ・あなたの思い・私の思い〜』を合言葉に、研究者と患者会代表がペアを組んで研究成果を発表、最新の希少がんの医療・研究・治療開発に関して研究者と患者との意見交換、最優秀賞（理事長賞）・未来への架け橋賞（患者会賞）など8つの賞の表彰、「希少がんセンター10年の軌跡」（大型展示）、フォトスポット（来場記念）、LAVENDER RING ポスター展、患者会・支援団体などブース・情報コーナー、おもてなしコーナー（ドリンク・お菓子）など、患者会・支援団体のアイディアを取り入れた多くの新たな試みを行いました。

当日は堀田 知光 名誉総長、垣添 忠生 名誉総長、松浦 成昭 大阪国際がんセンター総長、天野 慎介 一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長を来賓としてお迎えし、患者会・支援団体、企業などの展示ブース24団体、情報コーナー展示70団体、患者・家族、医療関係者など278名が参加する大盛況の会となりました。表彰式では、中釜 齊 理事長（現在、名誉総長）などプレゼンター（贈呈者）から8つの賞が研究者に授与されました。会終了後のアンケートでは、参加者の98%から満足とご回答いただき、大盛況にて終了することができました。



熱気に満ちあふれる会場で、患者会・支援団体、研究者、来賓者などと集合写真



報告書【国立がん研究センター希少がんグラント記念シンポジウム Report】
(<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/rcgrant/0158/no1regrantsymposiumreport.pdf>)



付録「希少がんセンター10年の軌跡」
(<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/rcgrant/0158/no1regrantsymposiumreportfuroku.pdf>)